

教職員の働き方改革プラン2025

(◎:新規取組 ○:拡充 ・:継続)

現状 ●県立学校において長時間勤務を行っている教職員の割合
【月45時間超】R1:41%→R6:21% ※最繁忙月(5月)

課題 ●職場環境の改善による教職の魅力回復
●ICTの活用等の新しい働き方の定着

対応

基本
目標

時間外在校等時間が月45時間・年360時間を超える教職員
ゼロ(特に月80時間超のゼロを最優先とする)を目指す。

重点
取組

・勤務時間に対する意識の向上と業務の継続的な見直し
・ICTの活用やチーム学校の推進、部活動改革の推進
・「働き方改革」と「ICT教育」の一体的な推進

1 長時間勤務・多忙化解消等の働きやすい環境づくりの取組の推進

勤務時間管理の徹底と勤務時間を意識した働き方の推進

- ・退勤時刻を超える場合の申告の徹底及び上限時間を超えた場合の事後検証の実施
- ◎ 年次休暇の取得期間の変更(暦年単位→年度単位)
- ◎ 1年単位の変形労働時間制の導入
- ◎ 変形労働時間制にも対応した、新たな出退勤管理システムの導入に向けた調査検討の実施
- 働き方改革に係る取組状況の公表

業務内容の不断の見直し

ICT
の活用

- 校務支援システム、デジタル採点システム、高等学校入学者選抜のWEB出願システム、教育用生成AI等の活用
- ・ ICTの有効活用に向けた研修の充実

部活動指導に係る負担軽減

部活動
改革

- ・ 部活動の在り方の見直し
- ・ 部活動ガイドラインの遵守徹底と部活動指導員等の配置
- ・ 学校規模に合わせた部活動数の適正化の推進

学校を支える体制の整備

チーム学校
の推進

- ・ 業務アシスタントや部活動指導員等の外部人材の配置
- 学校を取り巻く問題に対する法的助言や学校の立場での面談同席等、弁護士による支援体制の充実

2 ハラスメントとメンタル不調等の速やかな察知と解決

ハラスメント等の速やかな察知と解決

- 全職員向けのハラスメント防止研修内容の充実
- ◎ マニュアル等を活用した過剰な苦情や不当な要求への対応支援

メンタル不調等の速やかな察知と解決

- ストレスチェック実施の徹底、相談窓口の活用促進、SNSでの情報発信等
- 安全衛生委員会による健康増進等に向けた取組の充実

3 働きやすい環境づくりに向けたマネジメント力向上と組織体制の確立

管理職等のマネジメント力の向上

- ・ マネジメント能力やリーダーの資質向上に関する研修の実施

学校の指導・運営体制の強化・充実

- 自ら学び続ける教職員の支援
- ・ コミュニケーションやコーチングスキルの向上に向けた研修の充実
- ・ 若手教員をサポートする体制の充実(初任者研修等の充実)

4 市町村教育委員会の取組に向けた支援・働きかけ

令和7年度の重点項目

- ・ 休日部活動の段階的な地域移行に向けた支援・働きかけ
- ・ 教職員の業務量の適切な管理の促進(県内市町村での100%実施)
(①客観的手段による勤務時間の把握、②退勤時刻(午後7時以前)の設定、③退勤時刻を超過する場合の勤務内容の申告の徹底)

県の財政的支援・県事業による支援

- チーム学校の推進のための人材配置支援(スクール・サポート・スタッフ等)
- ◎ 副校長、教頭の業務を支援する人材配置を支援
- 専門性の高い指導と教員の負担軽減のため小学校に専科指導教員を配置
- ・ 教職の魅力化促進となり手の確保(新規採用教員に対する奨学金返還支援等)
- ・ 休日部活動の段階的な地域移行に向けたガイドラインに基づく支援